

令和 8 年熊本地震に係る環境省の初動の対応

- 7/29以降、各施策に対し現地に職員を派遣し、7/30に設置された政府現地災害対策本部に審議官以下 3 名派遣。
 - ① **熱中症対策**：本省から管理職以下 **2 名**を派遣し、九州環境局の職員とともに活動（7/29以降のべ**22人・日**）。
 - ② **ペット対策**：本省から **1 名**を派遣し、九州環境局の職員とともに活動（7/29以降のべ**14人・日**）。
 - ③ **災害廃棄物対策**：本省、地方環境局、JESCO（※）の職員**22名**を派遣し活動（7/29以降のべ**87人・日**）。

※ 災害廃棄物対策の専門支援機関

① 熱中症対策

- 猛暑・酷暑の中、**被災者の熱中症対策を県・関係省庁・関係機関と連携しつつ推進。**

【避難所における熱中症対策】

- ☑ **避難所に飲料水等の物資が十分に行き渡るよう、**

① 医療関係者の情報を踏まえた各避難所のリスク評価、② 物資の分配計画の策定、③ 避難所への物資輸送、
に関して**医療関係者・県・関係府省庁と調整。**

- ☑ **リーフレット等の資料を活用**した各避難所における熱中症対策の徹底。

【避難所以外の熱中症対策】

- ☑ 車中泊対策として、**熱中症とエコノミークラス症候群のチラシを作成し、医療関係者・警察関係者を通じて個別配布**を実施。
- ☑ 今後受け入れが本格化する**ボランティア従事者の熱中症注意喚起の事務連絡**を発出予定。
- ☑ 県・市町が開放可能な民間施設の**クーリングシェルター**を抽出し、県のウェブサイト等で公開・周知（随時更新予定）。

② 避難所でのペット対策

- ☑ **八代市・宇城市・氷川町を中心に現状把握と助言**を実施。
- ☑ 県が**ペットに関する相談窓口**を設置。
- ☑ 県に対し、**避難所・仮設住宅等でのペット受入への配慮に係る依頼文**を発出。
- ☑ ペット災害支援協議会等の民間団体と密に連携し、県からの要請に応じてケージ、フード等の支援をいつでも実施可能な体制を構築。

③ 避難所の生活ごみ・し尿の処理／災害廃棄物の撤去

- ☑ 熊本県、八代市、宇城市、氷川町を中心に、**渋滞対策**含む**仮置場の適正運営**や、**し尿処理**等に係る**技術的助言**を実施。
- ☑ 仮置場を8/3までに、12市町村にて開設（次頁地図を参照）。
- ☑ 災害廃棄物処理支援ネットワーク(**D.Waste-Net**)を活用し、関係団体に協力要請、**7/30より現地派遣**。また、**8/3より人材バンクから宇城市に派遣**(追加派遣も調整中)。

令和8年熊本地震に係る環境省の災害対応の実例

① 熱中症対策

- 避難所等で水分・塩分の摂取や暑さを避ける行動を呼びかけ



③ 避難所の生活ごみ・し尿の処理／災害廃棄物の撤去

- 仮設トイレやトイレカーのし尿回収状況を確認

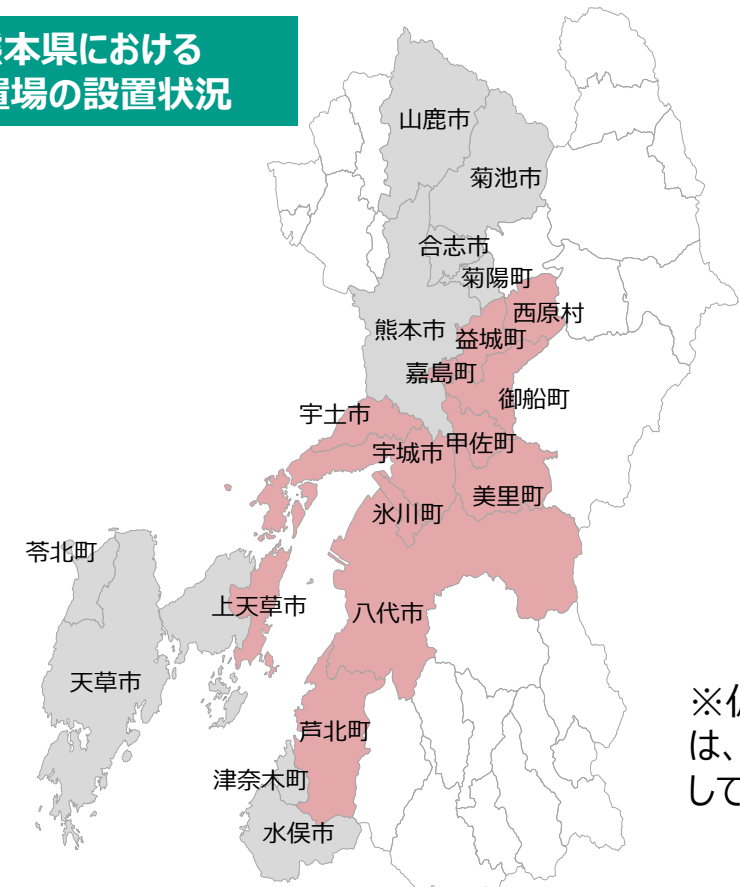


② 避難所でのペット対策

- 避難所でペットの受け入れに関する現状把握と助言を実施



熊本県における 仮置場の設置状況



**開設済
12市町村
設置せずに
通常処理**

※仮置場の設置の要否は、市町村が実情を考慮して判断



©2010 熊本県くまモン#熊本

注意!

車中泊をされている皆様へ

車中泊をされている方は、以下の対策を行いましょう。

1 熱中症の対策

めまい、手足のしびれ、こむら返り、頭痛、吐き気、だるさ、倦怠感等の症状は、熱中症の疑いがあります。特に返事がおかしい、意識消失、けいれん、体が熱い等の症状がある際は救急車（119）を要請してください。

予防方法

- ① こまめに水分・塩分を補給する（のどが渇く前に飲む）
 - ② 暑さを避ける
 - ・車両は日陰や風通しの良い場所に駐車する。
 - ・車内はエアコンや扇風機で温度管理する。
 - ・風通しの良い服を着用し、保冷剤などで体を冷やす
- ※ 乳幼児等を車の中で一人にさせないようにしましょう。



災害時の熱中症予防

2 エコノミークラス症候群の対策

長時間動かず、同じ姿勢でいると、エコノミークラス症候群を起こす可能性があります。足にできた血栓が肺に詰まり、胸痛、呼吸困難、失神等の症状が出現し、大変危険な状態となることもあります。

予防方法

- ① 長時間同じ（特に車中等での窮屈な）姿勢でいないようにする。
- ② 足の指をこまめに動かす、または歩く。
- ③ 適度な水分を取る。
- ④ 時々深呼吸をする。

○ 予防のための足の運動



©2010 熊本県くまモン#熊本